

ポスター報告について

日本経済学会

2024年秋季大会では、ポスターセッションを対面で行います。報告者は研究成果をまとめたA0版用紙のポスターを設置ボードに掲示し、質問者に口頭で説明します。本学会では、他のセッションと重ならないポスター・セッション専用の時間枠を設定するほか、ポスターの掲示時間を長めに設定することで、参加者間の自由な研究交流を促します。大会プログラムには、報告者氏名、報告論題等が明記され、学会報告実績として一般報告と同様に記載できます。

また、ポスター・セッションの時間枠の前には、各報告者がスライド1枚を映写しながら、1分間で報告の主張やセールスポイントを簡潔に口頭説明するフラッシュ・トークのセッションを設けます。ポスター報告者は、必ずこの報告を行って下さい。スライドは指示された期限までに提出する必要があります。期限と提出方法は、報告採択通知時に指示します。スライドの提出がない場合には、ポスターセッション及びフラッシュ・トークに参加できません。

●ポスター報告のメリット：より多くの研究者との意見交換が可能

一般報告ではフロアからの質問時間はかなり制限されていますから、コメントをもらえる相手は討論者に事実上限られてしまいます。しかし、ポスター・セッションでは同じテーマに関心のある研究者から幅広く意見を聞いたり、討論したりすることが可能です。質問者としても、一般報告のフロアからでは聞きにくいことでも、ポスター・セッションでは個人的に聞けますから、より率直な意見交換や情報交換が可能と言えるでしょう。

●応募資格

- ・報告は日本経済学会会員に限ります。
- ・非会員の方は、報告申し込みを行う前に入会手続きを行い、仮会員となって会員番号を取得してください。会員番号を取得しないと報告申し込みはできません。
- ・入会申し込みの手続きや入会資格要件の詳細については、学会HP「入会案内」をご確認ください。
- ・報告される年度の年会費について学生減額会費（6000円）を適用されている方はポスター報告のみ可能です。
- ・ポスター報告の申し込みをされる場合は、以下の注意事項と確認事項を承諾して頂いたとみなします。報告受付時に（報告受付サイトにて）、承諾して頂く内容を追加する場合がございますので、注意事項と確認事項を必ず確認し、同意のうえで手続きを行ってください

い。

● 申し込みにあたっての注意事項

- ・報告論文の申し込みは原則 1 人 1 本です。但し、共著論文が含まれており、同一人の報告が 1 回にとどまる場合にはこの限りではありません。
- ・同一論文を一般報告とポスター報告の両方に申し込みことはできません。また、ポスター報告に応募する方は、企画セッションでの報告を行うこともできません。
- ・報告申し込み時点で著者全員が大学院に在籍する場合、在籍大学院の教員 1 名の推薦を必要とします。推薦者の氏名もプログラムに記載されます。

● 申し込みにあたっての要確認事項

- ・ポスター・セッションは大会初日午後に 1 時間半の時間枠で行う予定です。ポスターはセッション開催日の夕方まで展示可能ですので、専用の討論時間枠以外での活動も可能です。
- ・展示するポスターは報告概略を A0 用紙 1 枚分のスペースを使って、設置ボードに展示していただきます。大会サイトに掲載される「発表者の方へ」の指示に従い、発表当日午前中にご自身で展示していただきます。
- ・フラッシュトークに使用するスライドは、プロコミ委員会からの指示に従い事前に提出します。
- ・発表言語は日本語または英語です。
- ・大学院生・任期付き教員などが自らの研究成果を公表する目的で求職活動の一環として行いたい場合は「ジョブ・セミナー」としてプログラムで報告者氏名の横に (J) という記号を付けます。ご活用ください。
- ・報告申し込み時に選ぶ分類コードは大会のコードです。JEL コードではないことに留意ください。
- ・報告申し込みには報告要旨と報告論文本体の PDF ファイルをご提出いただきます。
- ・共著論文の場合には、すべての著者がポスター報告を行うことをについて合意したうえで報告の申し込みをしてください。

(報告要旨について)

- ・報告要旨は図表を含めて A4 サイズ 1 ページとし、必ず最上部にタイトル・所属・氏名を入れて下さい。
- ・報告要旨については、報告申し込み時に提出されたものを大会公式サイトに掲載します。差替えはできませんのであらかじめご承知おきください。
- ・報告申し込み時に提出した資料の修正を希望する場合には、ご自身の Web サイトに更新版をアップし誘導する等で対応し、その旨報告要旨の注意書きに記載ください。

(報告論文について)

- ・報告論文は図表等を合わせて必ず一つのファイルとしてください。アップロード可能なファイルサイズは最大 5MB です。
- ・報告論文は大会公式サイトには掲載されません。
- ・提出された報告要旨及び報告論文をもとにプログラム委員会が採否を決定します。未完成と判断される論文は受け付けませんのでご注意ください。

●ポスター・セッションのメリットを活用するためのアドバイス：研究成果をアピールできるようしっかり準備することが大切

研究成果をアピールできるポスターをしっかり準備すれば同じ分野の研究者からも高く評価され、就職などの面でも有利になるでしょう。会員の皆様には是非、ポスター・セッションを有効に活用していただきたいと思います。

なお当日会場において資料を配付するのは自由です。PCなどの電源はご用意しません。具体的な「ポスター・セッション会場の仕様」については、大会公式サイトに掲載します。

追加参考情報：ポスター準備のために

ポスター・セッションでは、報告概略を A0 用紙 1 枚分のスペースを使って、設置ボードに展示していただきます。A0 用紙のサイズは 119cm × 84cm です。報告概略を A0 用紙 1 枚にまとめるか、A4 や B4 など、AO より小さい用紙を使うかどうかは報告者の自由です。

これまでポスター・セッションに参加された先生方から、文字や図表が小さすぎるポスターがあったとの声が寄せられています。AO あるいはそれより小さい用紙を使ういずれの場合でも、文字や図表があまり小さくなりすぎないように注意してください。

< A0 用紙 1 枚にまとめる場合 >

最も簡単な方法は、生協、その他の業者に依頼するなどして、予め A0 用紙にプレゼン内容をプリント・アウトすることです。

それができない方に対策を 2 つご紹介します。なお、以下の説明の中には古い情報も含まれる可能性がありますので、ご注意下さい。

- 1) 予め A4 用紙サイズで 16 ページ分プリントして、それを順番に貼り付ける。

2) A0 用紙 1枚をレイアウトとしてポスター原稿をパソコン上で作成し、それを分割印刷した後、改めて 1枚に貼り合わせる。

1番目の方法については説明を必要としないと思います。2番目の方法については、インターネット上で各自いろいろ探し出すことができるかと思います (keyword 例 : 分割印刷 + latex) が、windows、mac osx、linux のいずれでも、jpeg や bitmap 形式の画像ファイルを比較的簡単に分割印刷できるアプリケーション(フリーウェア)に PosteRazor があります。

LaTeX を利用する場合には、Jonathan Marchin 氏の a0poster という documentclass が利用可能です。Compile の結果は A4 サイズで表示されますので、最終版作成前の準備段階でポスター確認のためには便利です。詳細については、たとえば奥村晴彦先生 (三重大学) が主宰されている TeXWiki の「LaTeX での Poster の作り方」が参考になると思います。

Gimp (win、mac osx、linux) や GraphicConverter (mac osx) などの画像変換ソフトを使って pdf や ps 形式のものを jpeg や bitmap 形式に変換した上で、上記のソフトを併用するといいでしょう。

分割印刷の方法についてはインターネット上で様々な情報を収集できます。